



生活に欠かせない
電力量計の製造に
熱い思いを傾ける

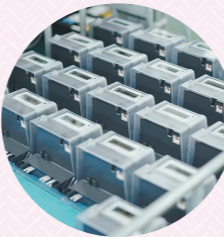
入社2年目の早坂さんは、「失敗をして不良品を出したときは落ち込みましたが、その経験を糧にし今に活かしています」と話す。

product

普及率100%に向け導入進む スマートメーターの製造を担当

検針員が出向かずとも、使用電力量をデータとして遠隔地に送ることができるスマートメーター。100%普及という目標達成の一翼を東北計器工業は担う。

1日1000個
以上作られる製品
全てに携わる



ISO9001を取得
安全と品質維持が
何より大事と訴える

東北計器工業株式会社は電力量計の多機能化が進む中において、市場ニーズに応え続けてきた。「電気計測技術による社会高度化への貢献」という経営理念を長年培ってきた電気計測技術で実現する。地域の安全で豊かな生活、地域環境負荷の低減に寄与できる新製品やサービスの開発・提供に日夜取り組み続けている。現在の主力製品であるスマートメーターは従来のアナログ式とは異なり、デジタルでの計測が行える。通信機能を備えているため検針員が出向くことなく、遠隔で計量可能なことが最大の特長だ。2023年度までに普及率100%を達成することが目標として掲げられている。スマートメーターは今後更に、その通信機能を拡張させることで、新たな社会的役割を担うと期待されている機器でもある。



どをはじめとする入社後の導入（新人）教育は無論のこと、特に充実しているのは部門教育だ。赤沢正樹取締役製造部長は「安全を最優先し、その上で、品質が何より大事だということ徹底して教えます。品質マネジメントシステムに関する国際規格であるISO9001を取得していることから、その教育もしっかり行っています。習熟度に応じた個別教育、さらにはスキル管理表を用い、誰がどのレベルにあるかがひと目で分かるようにしていますし、資格取得のサポート体制も整っています」と話す。

仕事図鑑 #01 ACE.

東北計器工業株式会社
製造部製造1グループ 製造担当
早坂美里さん（19歳）
Misato Hayasaka



地域の未来のため 「計る技術」を進化させる

東北計器工業株式会社は東北電力企業グループの一つとして、1968年に設立。以来、電力量計、計器用変成器など、使用電力を計量する機器の製造と修理を担ってきた。データ通信による自動検針が行えるスマートメーターの製造が今は主事業だ。環境負荷を低減できる製品、そして、サービスの開発・提供に勤しむ。

スマートメーターの製造ラインで組み立てを行う早坂さん

丁寧に製品を目視
集中力高く確認する

スマートメーター製造で最後となる検査工程。
誤計量が特に許されない機器だけに検査は機器と人間の目を使って実に丁寧にやられる。



入社2年目となり、だいぶ仕事に慣れたというが、これまでは失敗も経験している。「去年、大きなミスを一カ月ぐらいの間に2度してしまいました。それも同じミスでとても落ち込みました」。スマートメーターの組み立て工程で、あるケーブルを所定の位置に差し込まなかったことで、その製品は不良となった。「失敗は取り返せないけど、これからの糧にしなければと心に決めました。それ以来、大きな失敗はありません」。将来の目標を聞くと、「まだ、入って2年目ですが、これから先輩が増えていくと思うので、的確にしっかりと教えられる先輩になりたいです」と答えた。朗らかでコミュニケーション能力の高い早坂さんが、先輩から慕われる姿が目に見えかぶ。



電動ドライバーの扱いも手慣れたものだ



スマートメーターの工程は大きく4つに分かれており、早坂さんは基板工程を除く3工程に従事

V作業の進め方を確認する早坂さん(右)と若生マネージャー



先輩のテキパキと働く姿に刺激を受ける
製造部製造1グループに配属される
スマートメーターの製造に携わる

東北電力グループの一員としてこれまで電力量計の製造、修理を担当し、高い信頼を得ている東北計器工業。早坂美里さんが入社したのは2020年4月のこと。「数学、特に計算問題を解くのが好きだった」という早坂さんは、ものづくりに興味があり、高校は理系の古川工業高等学校(大崎市)電気電子科に進学。「実習でいろいろなものを作ったのが思いついたですね。充実した高校時代でした」
もともと就職を希望していた早坂さん、求人票をチェックする中で出会ったのが東北計器工業だ。「工場見学に訪れた際、社員の方たちがすごくテキパキと働かれています。私もこの会社でそういうふうになりたいと思いました」。就職試験が終わり、結果が出るまでは緊張していたのだろう、「内定をいただき、すごくうれしかったこと、ほっとしたことをよく覚えていますが」。高校を卒業し、配属されたのは製造部製造1グループ。スマートメーターを作る部門だった。

不良品を出した失敗を胸に刻む
作業中の集中力をより高く保つことを決意
将来は先輩から頼られる先輩になりたい

入社2年目となり、だいぶ仕事に慣れたというが、これまでは失敗も経験している。「去年、大きなミスを一カ月ぐらいの間に2度してしまいました。それも同じ

ミスでとても落ち込みました」。スマートメーターの組み立て工程で、あるケーブルを所定の位置に差し込まなかったことで、その製品は不良となった。「失敗は取り返せないけど、これからの糧にしなければと心に決めました。それ以来、大きな失敗はありません」。将来の目標を聞くと、「まだ、入って2年目ですが、これから先輩が増えていくと思うので、的確にしっかりと教えられる先輩になりたいです」と答えた。朗らかでコミュニケーション能力の高い早坂さんが、先輩から慕われる姿が目に見えかぶ。

教えてください! ACEの仕事ぶり

明るく人見知りせず
テキパキ仕事をこなしてくれる
未来の現場リーダーです



上司に聞いてみました!

製造部製造1グループマネージャー
若生 直秀さん Naohide Wako

「仕事を覚えるのがすごく早い」というのが初めに受けた強い印象です。受け答えもハキハキとしていて、反応がいいのも彼女の特長だと思います。性格は明るく人見知りをしないので、すぐに誰でも打ち解けることができます。また、常に責任感を強く持って役割を担ってくれています。今後は電子機器組立技能検定の合格が、当面の目標になります。はんだ付けの技術などを身に付けて、スマートメーターの製造ライン全ての工程をこなせるようになってほしいです。そして、ゆくゆくは持ち前の明るさで現場を引っ張るリーダーになってもらえればと思います。

センパイから/
未来のACEへ!

楽しく仕事ができれば長続きする
自分に何ができるかの見極めが大事です



真面目に3年間高校に通ったことで社会人としての私があります

「電子機器組立技能検定を3年目になる来年は受ける予定です。受ければスマートメーター製造で基板工程にも携われるようになるので頑張ります」と意気込む早坂さん。

もともと、ものづくりに興味があって古川工高の電気電子科に進んだのですが、私はそれがすごく良かったと思っています。勉学にも自分なりにしっかりと取り組まれましたし、休まず学校へ行って頑張ったことは大きな成果でした。高校の3年間で何が好きかが明確になりましたし、また、自分に何ができるかも把握できるようになり、それが就職先を選ぶ大きな羅針盤になりました。私が東北計器工業で働けることになったのも、そうした自分に対する見極めがあったからだと確信しています。

DATA

東北計器工業株式会社

所在地/黒川郡大和町吉岡字石神沢34-1 □代表取締役社長/藤原 正雄 □資本金/9,000万円 □設立/1968年10月
従業員数/270人(2021年8月現在) □事業内容/スマートメーターなどの電力量計、計器用変成器などの製造・修理・販売・工事
経営理念/「電気計測技術による社会高度化への貢献」
TEL 022-345-2105 http://www.keiko.co.jp/



高品質・高信頼性を追求し
顧客から安心して任される企業を目指す